

令和6年度「育ちと学びをつなぐ」
幼保小連携・接続の充実事業報告
(竹原市)

令和7年2月26日

竹原市教育委員会

指導主事 板垣 祐美

てきふようにたよ
つくこ

かいせつ

きょうしん

○園の保育の好事例
○小学校の授業の好事例

ときたち

あそび

いえのこと

はねはやまき
おどけた

Handwritten notes on yellow sticky paper, grouped by a red circle.

Handwritten notes on yellow sticky paper, grouped by a red circle.

Handwritten notes on yellow sticky paper, grouped by a red circle.

Handwritten notes on yellow sticky paper, grouped by a black circle.

Handwritten notes on yellow sticky paper, grouped by a red circle.

Handwritten notes on yellow sticky paper, grouped by a red circle.



○園の保育の好事例 (竹原市立吉名こども園)

こまを作って、こま回し勝負を楽しもう

様々な材料を使って、工夫してこまを作ることを楽しむ

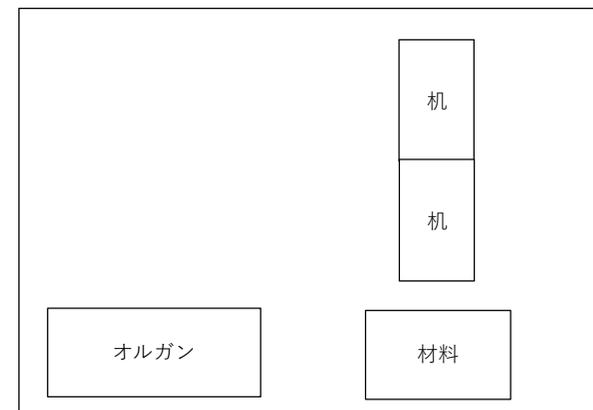
思考力の芽生え

豊かな感性と表現

友達と思いを出し合いながら、こま回しを楽しむ

言葉による伝え合い

協同性



○園の保育の好事例 (竹原市立吉名こども園)

こまを作って、こま回し勝負を楽しもう

思考力の芽生え

豊かな感性と表現

思いの
実現に向け
こだわる



比べる

選ぶ(色・素材)

創り込む

○園の保育の好事例 (竹原市立吉名こども園)

こまを作って、こま回し勝負を楽しもう

言葉による伝え合い

協同性

自然と
かかわり
合う



ためす

くらべる

ほめる

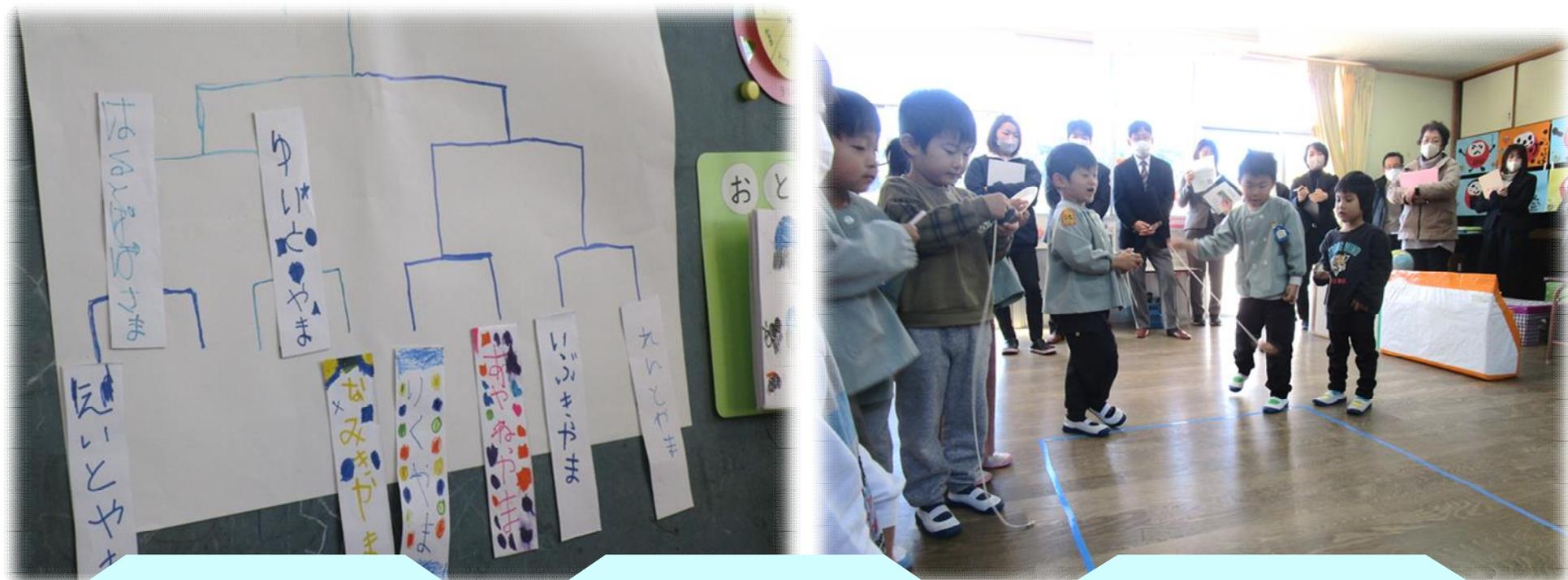
○園の保育の好事例 (竹原市立吉名こども園)

こまを作って、こま回し勝負を楽しもう

言葉による伝え合い

協同性

みんなで話し合って実行する



伝える

折り合う

応援し合う

○園の保育の好事例 (竹原市立吉名こども園)

こまを作って、こま回し勝負を楽しもう

言葉による伝え合い

協同性

みんなで
話し合って
解決する



次はどんな
こま回し大会に
しようかな……

折り合う

提案する

次の遊び(ドラマ)へ

○園の保育の好事例 (竹原市立吉名こども園)

小学校教員のかかわり



共に、
子供の姿を見取り、
かかわり、
育てる

○園の保育の好事例 (竹原市立吉名こども園)

令和6年度アプローチカリキュラム

竹原市立吉名こども園

吉名こども園の教育・保育目標

- ①伸び伸びと遊び、失敗を恐れず主体的に活動する子ども
- ②様々な人との関わりを重ねる中で、思いやりや協調性を育み、自分も友達も大切にできる子ども
- ③豊かな自然との出会いの中で、体験を通して学び、心も体も



期	4	5	6	7	8
子どもの姿	<p>やり直くなったよ！やる気満々よ！</p> <p>進級当初の園児の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ●身長伸びになり、うれしくておどろいたり、年下児のお世話を喜んだりする。 ●自分の好きな遊びをやりたいことを伸び伸びと楽しむ。 ●小学校へのイメージが薄かったり、不安を感じたりする園児もいれば、足跡を見て期待を持つ園児もあり、個人差が大きい。 	<p>園では、自分でできることは自分でやっているよ。</p> <p>友達と遊ぶのが楽しい！でもケンカも多いの…。</p> <p>小学校ってどんなところかよくわからないなー、ちょっぴり不安。</p>	<p>安心</p> <p>小学校お遊戯会</p>		
ねらい	<p>進級当初の園児の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ●身長伸びになり、うれしくておどろいたり、年下児のお世話を喜んだりする。 ●自分の好きな遊びをやりたいことを伸び伸びと楽しむ。 ●小学校へのイメージが薄かったり、不安を感じたりする園児もいれば、足跡を見て期待を持つ園児もあり、個人差が大きい。 				
ねらいにつながる遊び・活動・行事・内容 (下線部は学業と交流するもの) →→→は年間を通してする活動	<p>アサガオ土作り・雑草き 玉ねぎの収穫・乾燥 サツマイモや夏野菜の栽培え 卒園式 セーブ</p> <p>お祭り、観察 ふれあい集會 学園運動会</p> <p>虫ごがし、虫のおうち作り・飼育 交通安全指導</p> <p>3色ボード クッキング→→→ 家庭で遊ぶ→→→ 異年齢交流 読みかきかん</p> <p>運動会→→→ サッカー教室 園庭ゲーム→→→ ボードゲーム</p> <p>給食の会・当番活動・食育 園庭ゲーム→→→ とだかごがし・雑草づくり どんぐりに遊び・水遊び・プール遊び</p> <p>秋遊び・ソレイユ運動会→→→ 園庭ゲームによる食育指導→→→ 卒業式による食育指導→→→</p> <p>読みかきかん わかたけ→→→ 歓迎会 卒園日 セツ会 緑日ごっこ</p>				
環境構成	<p>自分の思いを伝えたり、友達や先生の思いを聞き取りできるように、話し方や様子の場を設ける。</p> <p>自分でできた！という達成感が得られるように、自分で選んだり、決めたりできる環境を作る。</p> <p>散歩や遠足などの校外活動を通して、地域の人と挨拶を交わし、様々な人との関わりをもち、安心して過ごすことができるようにする。</p> <p>友達との関わりが深くなるように。</p> <p>行事などの取り組みができるようになる。</p> <p>言葉・食育活動を通して、気持ちを伝える。</p>				
家庭との連携	<p>家庭での様子を知りたい、年長児として目標をもって生活し、行動する姿を知りたい、ともに進歩を喜び合いたい。</p> <p>支障のある子どもについては、保護者・関係機関・こども園が相互に連携を取ったり、親子参加型の活動を促したりする。</p> <p>家庭訪問や懇話会を通して、子どもの成長についてと園への要望、就学についての相談、保護者の思いを聞き、連携を図る。</p> <p>遊びや行事などを通して活動の中で、子どもたちと関わりあいたい、どのような関わり方をしたいか、どのような関わり方をしたいか、子どもの変化や成長を喜び合う。</p> <p>子ども、保護者に伝達する力の向上を図り、家庭と協力しながら日々の関わりの中で、関わりを大切にしていける。</p> <p>学園での交流の様子をホームページやメールを通して伝え、安心感へと繋げたい。</p> <p>就学に向けて、生活リズムを整えていくことの大切さを伝え、読書、観察、記録、行事などの時間を有効に、充実した生活が送れるように指導を要する。</p> <p>就学に向けて、子どもの疑問や不安感を受け止め、安心して就学できるように子どもへの関わり方もともに考えたい。</p> <p>懇話会を行い、園・家庭・学園の連携を図り、情報を共有する機会を設ける。</p>				
学園との連携	<p>園児が安心して学校生活で活動できる、より充実し、実習</p>				

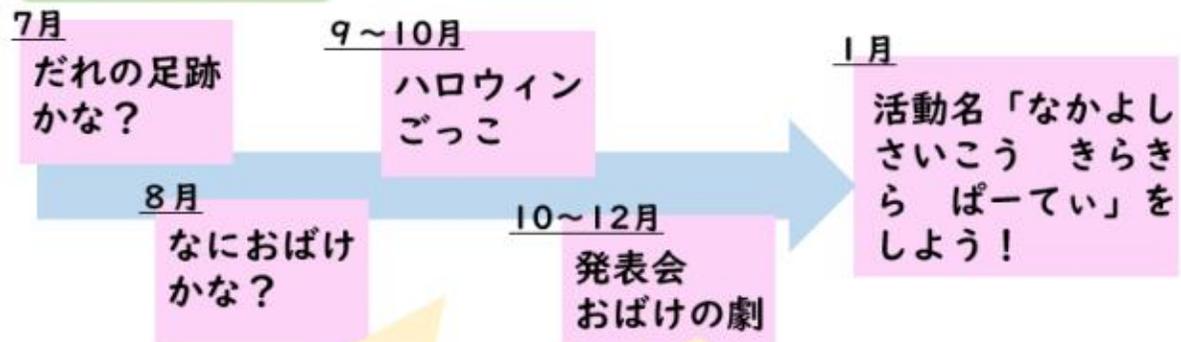
期待する園児の姿

- 色々なことに興味や好奇心をもって、チャレンジする。
- 失敗したときに、先生や友達を頼ることで人を信じる心が育つ。
- 友達も自分も大切にし、自分に自信をもち生活できる。

実践を通じたカリキュラムの見直し

○小学校の授業の好事例 (竹原市立中通小学校)

園での遊び



なかよしかがやきパーティ①



なかよしかがやきパーティ②



小学校との
交流

いよいよ
小学生!



○園の保育の好事例 (竹原市立中通小学校)

生活科「あきとなかよし」
あきのたからものでつくってあそぼう

秋の自然物や身近なものを使って作ったおもちゃをよりよいものにするにはどうしたらよいかを考え、その考えを友達と伝え合いながら、こども園の園児たちに遊んでもらうことを想定し、おもちゃを改良したり遊び方を工夫したりすることができる。

相手意識

目的意識

これまで培ってきた資質・能力

○園の保育の好事例 (竹原市立中通小学校)

生活科「あきとなかよし」
あきのたからものでつくってあそぼう

ともだちときょうりよくして、おもちゃをパワーアップさせよう。

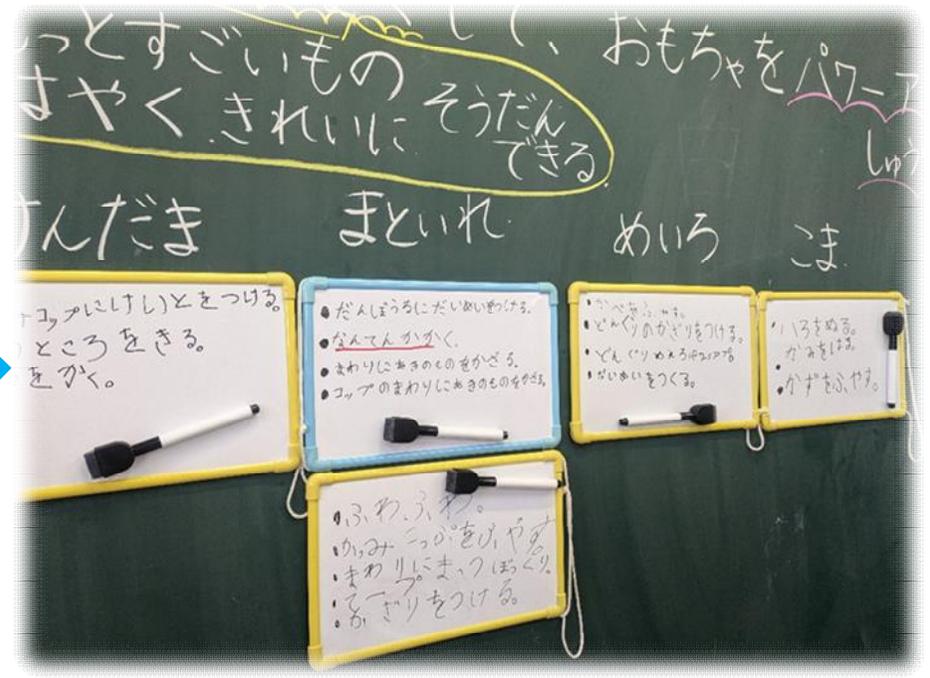


保育参観での学びを生かし、主体的に選択・決定できる環境へ

○園の保育の好事例 (竹原市立中通小学校)

生活科「あきとなかよし」
あきのたからものでつくってあそぼう

ともだちときょうりよくして、おもちゃをパワーアップさせよう。



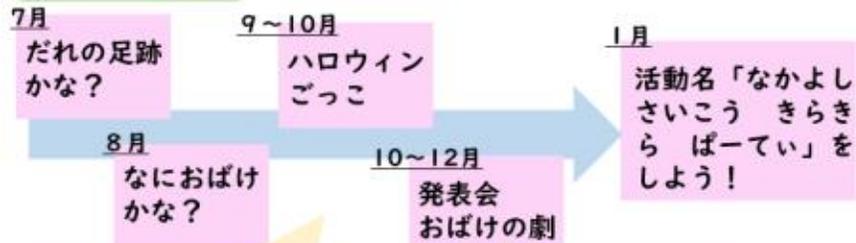
培ってきた資質・能力 + 教科の学びの楽しさ

○園の保育の好事例 (竹原市立中通小学校)

生活科「あきとなかよし」
あきのたからものでつくってあそぼう

ともだちときょうりよくして、おもちゃをパワーアップさせよう。

園での遊び



なかよしかがやきパーティ①



なかよしかがやきパーティ②



小学校との交流



遊びの広がりつながり → 学びのひろがりつながり

○園の保育の好事例 (竹原市立中通小学校)

生活科「あきとなかよし」
あきのたからものでつくってあそぼう

子供も
教師も
ワクワク



遊びの広がり つながり → 学びのひろがり つながり

今後もパワーアップ！ (教諭向けリーフレットの作成中)

育ちと学びをつなげる 竹原市の幼保小連携

つながる子供



計画的に互恵性のある交流活動を実施



小学校で
また会おう
ね!

交流のポイント
 ○交流を通して、どのような力を育みたいかなど、事前にねらいを共有し、内容を工夫する。
 ○教員同士も役割分担をして協働する。
 ○振り返りを共有し、次年度以降の活動につなげる。
 ○子供も教員も楽しんで!

(保育者より)
 交流後、「こうやって教えてもらったよ。」など小学校への興味や具体的なイメージをもったり、実際に真似て遊びを工夫してみたりする姿が見られました。

つながるカリキュラム



園と学校、それぞれのカリキュラムをつき合わせて改善を図る

「共通の視点」でカリキュラムを見直しましょう!
 ○期待する子供の姿
 ○遊びや学びのプロセスをどのように深めていくか
 ○園の活動と小学校の教育内容・活動をどのようにつなげていくか
 ○指導上の配慮事項(人・こと・ものの環境構成)
 ○年間の活動に交流をどのように位置づけるか
 ○家庭や地域との連携

つながる教師

参観の視点
 ○10の姿に関わる子供の様子
 ○期待する子供の姿につながる環境構成と教師や保育者の援助・支援



小学校教員による保育参観、保育教諭による授業参観を実施



10の姿を手掛かりに、参観をした子供の様子について語り合う

(保育者より)
 参観や交流を通して、子どもたちの小学校での姿をイメージしてみたり、保育の活動の中で、これは何につながっているのかな?と考えてみたりする事が多くなりました。

つながる保護者



10の姿の木 (掲示物)

(保護者より)
 これまで、遊びを生活の中心として過ごしてきた1年生にとって、授業の前には思い切り遊ぶことで十分に発散し、それが集中力にもつながるし、とても良い取組だと思いました。自分たちで遊びを工夫できる環境もとても良いと思いました。



スタートカリキュラム通信を発行し、園で身に付けた力を発揮し、園で身に付けた力を発揮し、安心して学校生活を送る様子を保護者に伝える

保育で見られた子供の姿が、どのような学びにつながっているのかについて10の姿で整理して提示し、保護者と共に子供の育ちについて語り合う

たけはら かけはしプログラム

自己*
発揮

あ*く*あ*く*

安*心*

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものです。
 幼児期は遊びを通して小学校以降の学習の芽生えを培う時期であり、小学校においてはその芽生えを更に伸ばしていくことが必要です。

竹原市では、全てのこども園が「アプローチカリキュラム」、全ての小学校・義務教育学校が「スタートカリキュラム」に取り組み、全ての子供のよりよい成長を願って「たけはらかけはしプログラム」を推進します。



学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について～幼保小の協働による架け橋期の教育の充実～
 (令和5年2月27日 中央教育審議会 初等中等教育分科会 幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会) (参考)



動植物に触れたり、栽培活動をしたことを通して、動植物への愛着や、命あるものを大切にしている気持ちが育まれます。小学校以降の生活や学習における、自然の事物や現象への関心や理解につながっていきます。



この時期に育まれた協同性は、小学校における集団生活の中で、先生や友達と協働して学び合ったり、生活をよりよく工夫したりすることにつながります。



身近な人・もの・ことと関わる



身体を動かして遊ぶ楽しさ・心地よさを十分に味わうことは、小学校以降、運動遊びや休憩時間などに、周りの友達と一緒に体を動かして遊び、のびのびと行動することにつながります。



遊びや生活の中で言葉を通したやり取りをする中で、話したり、聞いたりすることの楽しさを味わい、言葉への感覚や文字への関心を高めます。

アプローチカリキュラム活動案



小学校との連携による互恵性のある交流により、園児たちは小学校生活への見通しや憧れをもつことができます。これらの気持ちを育むことは、新生活への安心感や希望につながるだけでなく、日々の自分たちの遊びをさらに工夫することにつながります。



入学当初なかよしタイム



登校後から1時間目を弾力的に扱い、園で親しんだ遊びや仲間づくり活動を通して、安心感を育む



ペアやグループ等親しみやすい形態を工夫し、楽しみながら言葉や数に親しむ

保育会園での学びを生かす

- ス 声掛けや声掛け
- も 学習目標
- の 道具類の配置
- こ 時間割の柔軟性
- じ カリキュラム・マネジメント

生活科を中心とした探究



「もっと〇〇を知りたい！」
児童の思いや願いを起点に学校探検へ
→児童の発見や気づきから更なる探究学習へ

「見つけたことを地図にしたいな！」



生活科探検家



スタートカリキュラム活動案



「なかよしタイム」で絵本を読んでもくれた地域の人のために〇〇したい！」
目的意識・相手意識を明確にした探究を

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)

思考力の芽生え

自然との関わり・生命尊重

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

園との交流



「こうしたらうまくできたそう」「ルールはどうする？」
園との交流の成功に向けて、仲間と協力して試行錯誤する



「小学校で遊んでみよう！」
1校2園で合同ドッジボール
教員も役割分担をして協働！



「こうやってやるよ！」「じゃあず！」「大成功～！！」
活動を通して、また次の「〇〇したい！」思いや願いが生まれ、次なる探究につながる

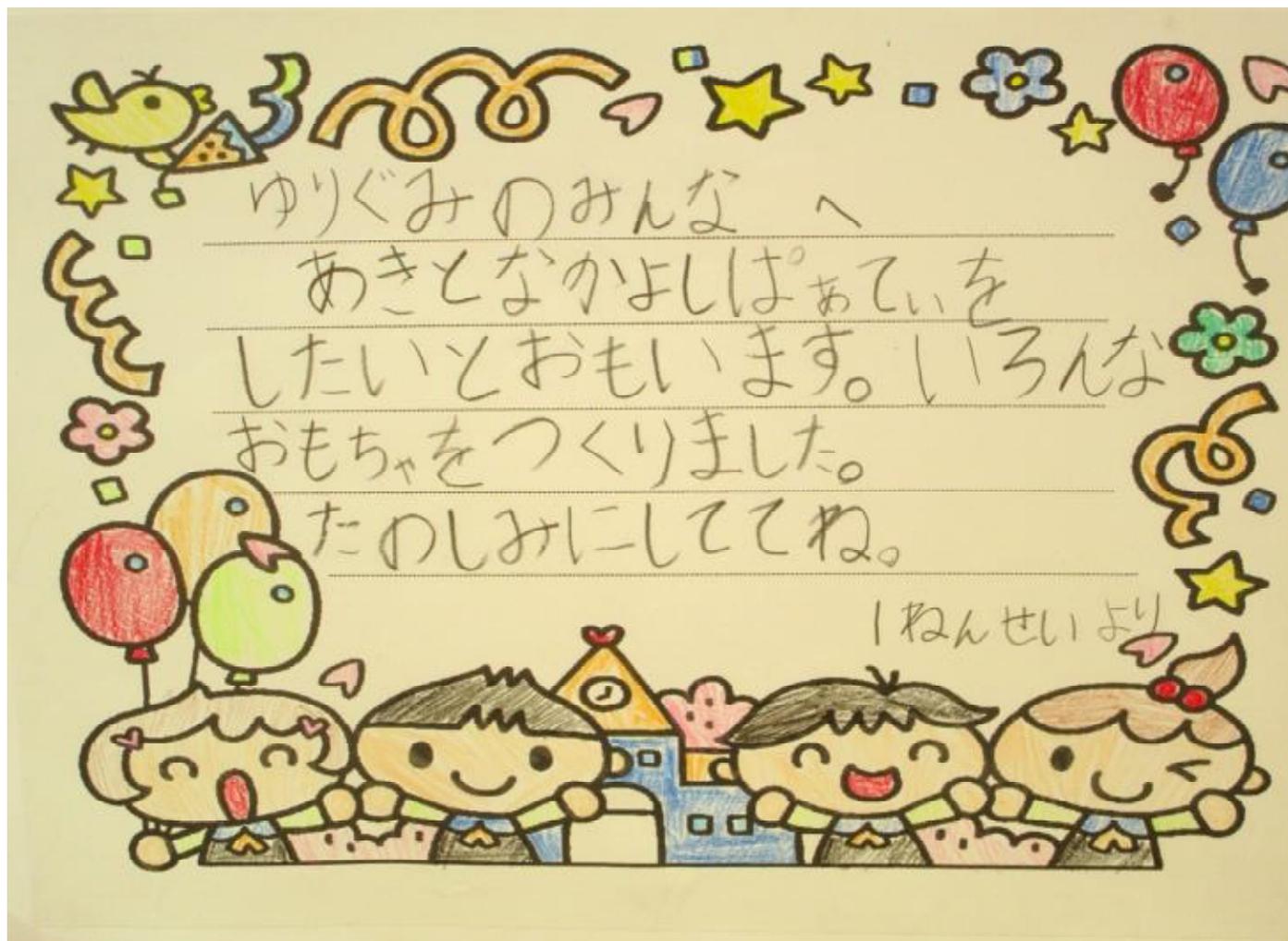
体験入学(入学説明会等)



「ランドセルを背負ってみよう！」



「私も入学の時は心配だったよ。でも、大丈夫！みんなできようになるからね！」
新入生を迎える喜びを感じると共に、自分の成長も同時に実感！
「2年生になって、みんなの入学を待っているよ！」



ありがとう
ございました

